

2015年度「日本女性学習財団賞」レポート募集要項

1. 趣 旨 男女共同参画社会実現のために、社会・地域・家庭の中でさまざまな困難や課題を乗り越えてきた過程をふり返った実践・研究レポートを募集し、日本女性学習財団賞として優秀作を表彰する。
※レポートの内容は、社会教育・生涯学習活動、女性運動、NPOおよびNGO活動、地域活動、家庭生活、職業生活、震災経験や復興に向けた営みなど、はば広い領域を対象とする。
2. 賞及び副賞 日本女性学習財団賞
大賞 1篇 副賞10万円
奨励賞 2篇 副賞各5万円
※特に選考委員から推薦があった場合、選考委員特別賞（副賞1万円）を設けることもある。
※該当作のない場合もある。
3. 応募資格 趣旨に関心をもつ個人及びグループ（性別・国籍を問わず）
4. 応募規定 (1)未発表のものであること
(2)使用言語は日本語であること
(3)レポート字数 8,000～20,000字（年表、図表、見出し、小見出しを含める。）
パソコン（ワープロ）・・・A4判用紙・横書 1ページ40字×30行
手書き・・・・・・・・・・400字詰原稿用紙に黒インクまたは黒ボールペンを
用い楷書で書くこと。
(4)本文と別に目次をつけること。
(5)他の著書・論文・HP等引用した場合は出典、参考文献がある場合は書名・著者
名・出版社名・刊行年・参考ページを明記すること。
(6)所定の応募用紙に必要事項を記入し、同封すること。
※応募用紙は財団に請求。財団HPからのダウンロードも可。
○応募レポートは返却しない。（必要があれば各自コピーをとること。）
○受賞レポートの著作権は本財団に帰属する。
○レポートは公開を前提とし、個人情報の保護には十分配慮する。
○受賞者氏名・所属・住所の一部（都道府県まで）は公表する。
5. 締 切 2015年8月31日（月）（当日消印有効）
6. 提出方法 郵送またはEメール添付ファイル ※ファックスでの応募は受けない。
および提出先 公益財団法人日本女性学習財団 日本女性学習財団賞係
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-8 日本女子会館5階
E-mail jawe@nifty.com
7. 選考委員 委員長 足立 則夫 ジャーナリスト
委員 渥美 由喜 内閣府少子化危機突破タスクフォース政策推進チームリーダー
金子 幸子 女性史研究者
倉持 伸江 東京学芸大学総合教育科学系講師
村松 泰子 本財団理事長

8. 選考基準 (1) 男女共同参画社会の実現に向けた実践や研究を自らの視点でまとめたものであること。
(2) 男女平等に向けての視点やジェンダー問題の視点に立っていること。
(3) 人権を守り育てる視点に立っていること。
(4) 創造性、独自性があること。
(5) 論理性、説得力があること。
(6) 正確なデータに基づき、実証的であること。
(7) 社会・歴史の中での位置づけ、あるいは国際的な課題との関係が総合的に考察されていること。
9. 選考結果通知 2015年12月中旬に、郵送にて応募者全員に通知。また、応募規定を満たし選考対象となったレポートには、講評を同封する。
10. 贈呈式 2016年3月5日(土)
会場 日本女子会館
※受賞者は出席すること。
11. 受賞レポート集 2月中旬に発行する。
12. 応募説明会 本事業趣旨への理解を深め、広く応募を促すため、応募に関する説明し・質疑応答の場を設ける。
日時 2015年6月20日(土) 13:30-15:00
会場 日本女子会館5階スペースWe learn
定員 20人
資料代 1,000円(受賞レポート集)
当日の内容は財団HPに掲載する。